

ものが後期難波宮である。

**朱雀門（すざくもん）：**

宮城の外郭南面中央の門で、正門にあたる。「朱雀門」の門号は日本書紀編纂時には使われていたが、それを遡る前期難波宮の時代にこの門号があったかは厳密には明らかではない。

**複廊（ふくろう）：**

回廊の一種で、幅（梁行）が柱間2間のものをいう。柱間1間のものは単廊という。一般に、複廊の方が格式が高いとされる。

(3) in 難波宮の保存と整備 [www.occpa.or.jp](http://www.occpa.or.jp) > ikou > naniwa\_info > naniwa\_gaiyou > ikou\_03\_01\_04

**① 難波宮インフォメーション：古墳時代の難波**



**古墳時代の難波**

伝応神陵古墳・伝仁徳陵古墳に代表される古墳が造られた古墳時代中頃（5世紀）に、ヤマト政権は**難波の地に港を設け**、国内外に権力を誇示するため**大規模な倉庫群を建設**した。また、この付近からは、朝鮮半島との交流を物語る**韓式土器**や**陶質土器**が見つかる。海外との交流には、平野区の長原古墳群で見つかった**船形埴輪**のような船が用いられたと考えられている。



**韓式土器（かんしきどき）**



**船形埴輪（ふながたはにわ）**